

UPLINK 自主上映可能リスト

1. 『モンサントの不自然な食べもの』 (素材: BD、DVD)

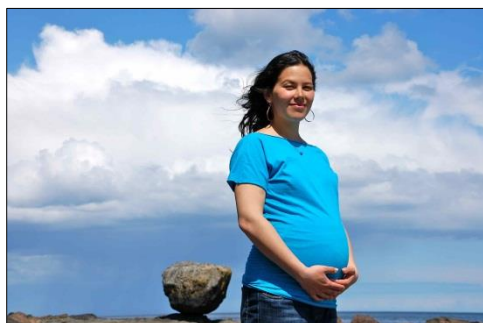


ヨーロッパ各国の GMO (遺伝子組み換え作物) 政策にも大きな影響を与えた話題作! 農業大国フランスで 150 万人が観た「食」、ひいては「いのち」をめぐるドキュメンタリー

世界の胃袋を握ること---それがモンサントのビジネス戦略。アメリカに本社を構えるアグロバイオ企業「モンサント社」、世界の遺伝子組み換え作物市場の90%を誇るグローバル企業の、クリーンなイメージに隠された裏の姿をカメラは追う。

監督: マリー=モニク・ロバン カナダ国立映画制作庁・アルテフランス共同製作
(2008年/フランス、カナダ、ドイツ/108分/原題: Le monde selon Monsanto)

2. 『セヴァンの地球のなおし方』 (素材: BD、DVD)



もうすぐ母親となるセヴァンは「大切なのは生活の質と健康、そして子供。だから私は自己中心的に、自分たちをどう救うかを考えていきたい」と、未来の子どもたちのために発言を続けている。

1992年、リオデジャネイロで開催された地球サミットで、12歳の少女、セヴァン・スズキは大人たちに環境破壊を止めるよう訴えかけた。その伝説のスピーチから、今年で20年。再びリオで地球サミットが行われる

監督: ジャン=ポール・ジョー (2010年/フランス/120分)

3. 『ブルー・ゴールド 狙われた水の真実』 (素材: BD、DVD)



それでも、ペットボトルの水を飲みますか?

私たちが生きていくのにかかせない“水”。しかしその水資源が、今後の世界の人口増加を考慮すると足りなくなるのが現状だという。

“石油戦争”から“水戦争”の時代へ。地球規模で水資源 (BLUE) をビジネス (GOLD) にしようとするグローバル企業から、身近なペットボトルをめぐる問題までを多角的に検証するドキュメンタリー。

監督: サム・ホッツ
ナレーション: マルコム・マクダウェル

4. 『核の傷』 (素材: BD、DVD)



春上映作品、広島原発体験者、原爆の恐ろしさを語る。
現役医師が語る内部被爆の危険性

自身の被曝体験を原点に、戦後 66 年間、被曝者治療と核廃絶運動に献身し、内部被曝の実相を訴え続ける現在 94 歳の肥田舜太郎医師の歩みを追ったドキュメンタリー作品。広島・長崎の被曝者たちに日米両政府が強いてきた苦悩を、2006 年にフランス人映像監督が描いた本作は、福島原発事故後の日本で何がなされるべきか、その一端をわれわれに示唆するものである。

監督・脚本：マーク・プティジャン
日本版ナレーション：染谷将太 (2006 年/フランス/53 分)

- Point 放射能との共生を余儀なくされた私たち、どうすれば子供や家族を守ることができるのか。実践できる方法を先生は教えてください。なにより、肥田先生ご自身の温厚でユーモアに溢れた人柄が魅力的です。

5. 『未来の食卓』 (素材: BD、DVD)



ほんとうの「おいしい」を、知っていますか？

南フランス発、オーガニック・ライフのススメ
世界の農薬使用量は年間 250 万 t。環境や私たちの体への影響は一体どうなっているのでしょうか？子供に安心して美しい世界を残したいという願いは全世界共通。最近では日本でも「農業」が注目され、「食育」への取り組みも活発になってきています。

おいしいものが大好きなフランス人も、私達と同様“食”の問題を抱えています。フランスの南部、美しい自然が多く残るバルジ

ヤック村では、小 学校の給食を 全部オーガニックにするという前例のない試みに挑戦しました。子どもたちは学校の菜園で野菜を作り、季節の中で土や人とふれあい、「自然と自分とのつながり」を学んでいきます。食のこと、からだのこと、地球のこと。そして、笑顔で食卓を囲むという幸せ。あたりまえの日々を、ていねいに暮らしてみませんか？

監督：ジャン・ポール・ジョー
音楽：ガブリエル・ヤレド (2008 年/フランス/112 分)

6. 『100,000年後の安全』 (素材: BD、DVD)



原発から生まれる放射性廃棄物の放射能レベルが生物に無害になるまでには、最低 10 万年を要すると考えられている。これは、放射性廃棄物の埋蔵をめぐる、未来の地球の安全を問いかけるドキュメンタリーである。

毎日、世界中のいたるところで原子力発電所から出される大量の高レベル放射性廃棄物が暫定的な集積所に蓄えられている。その集積所は自然災害、

人災、および社会的変化の影響を受けやすいため、地層処分という方法が発案された。

フィンランドのオルキオトでは、世界初の高レベル放射性廃棄物の永久地層処分場の建設が決定された。固い岩を削って作られる地下都市のようなその巨大システムは、10万年間保持されるように設計される予定だが、裏を返せば廃棄物が10万年の間、有害であり続けるということだ。

廃棄物が一定量に達すると施設は封鎖され、二度と開けられることはない。私たちはそう願っているが、誰がそれを保証できるだろうか。10万年後、そこに暮らす人々に、その危険性を確実に警告できる方法はあるだろうか。彼らはそれを私たちの時代の遺跡や神秘的な埋葬所、または宝物が隠されている場所だと思うだろう。そして彼らは私たちの言語や記号を理解するのだろうか。もし彼らが警告を理解したとしても、それに従うだろうか。疑問は尽きない。

監督のマイケル・マドセン自らが既に調査施設の建設が進行中のオルキオトに潜入し、このプロジェクトの実行を決定した専門家たちに、未来の子孫の安全性について問いかける。魅惑的な映像美で現場を映し出し、観客を未知の地下世界、そして未来へといざなう。

監督・脚本：マイケル・マドセン（2009年/デンマーク・フィンランド・スウェーデン・イタリア/79分）

7. 『プリピャチ』（素材：BD、DVD）



今年春公開新作、チェルノブイリから約4キロの町「プリピャチ」は12年後の福島の様なのか『いのちの食べかた』の監督が描く原発事故のその後と、そこで暮らす人々の姿追ったドキュメンタリー

チェルノブイリ原子力発電所から約4キロメートルに位置する街、プリピャチ。1986年の原発事故の後、原発の周辺30キロメートルが立入制限区域「ゾーン」と呼ばれ、許可なく入ることができない「管理されたゴーストタウン」と化している。

■Point チェルノブイリの原発事故と福島は同義ではないが、一つの例として「プリピャチ」に住む人々の姿は、住み慣れた町を離れたくない、暮らしというものを根底から見直す事ができる。

監督・撮影：ニコラウス・ゲイハルター（1999年/オーストリア/100分）

8. 『レイチェル・カーソンの感性の森』（素材：BD、DVD）



本作で主演を務める女優のカイウラニ・リーは、一人芝居『センス・オブ・ワンダー』の脚本を執筆し、18年もの間カーソンの最後の1年を演じてきた。本作ではカーソンが穏やかに余生を送ったメイン州の海岸にあるコテージに舞台を移し、豊かな自然の中でロジャーと過ごした日々を美しく再現する。

監督：クリストファー・マンガー（2008年/アメリカ/55分）

9. 『おいしいコーヒーの真実』 (素材: BD、DVD)



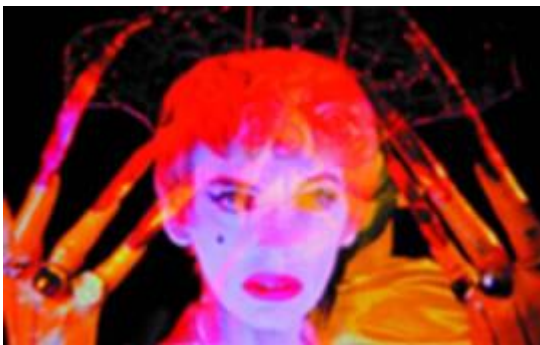
トールサイズのコーヒー1杯 330円。コーヒー農家が手にする金額、約3円。あなたが飲む1杯のコーヒーから、世界のしくみが見えてくる。

コーヒーは世界で最も日常的な飲物。全世界での1日あたりの消費量は約20億杯にもなる。コーヒー豆は世界市場において石油に次ぐ巨大な国際的貿易商品でありながら、コーヒー豆生産者は困窮している現実。一体なぜ?? コーヒー産業の実態を暴きながら、貧困に苦しむコーヒー農家の人々を救おうとする一人の男の戦いを追う。生産者、企業、消費者。コーヒ

ーが飲まれるまでの道のりに、深いドラマがある。1杯のコーヒーを通して、地球の裏側の人々の生活と世界の現実を、あなたは深く知ることになるだろう。

監督: マーク・フランシス、ニック・フランシス (2006年/イギリス・アメリカ/78分)

10. 『マジック・ランタン・サイクル』 (素材: BD、DVD)



デレク・ジャーマン、デヴィッド・リンチ、アレハンドロ・ホドロフスキー彼らの前にケネス・アンガーがいた! 欲望を呪術的に映像化する方法を彼らに知らしめた"ルーツ・イメージ"をスクリーンで体験せよ!

アンダーグラウンド映画の系譜において伝説的な存在の映像作家、ケネス・アンガー。今日、映像派と呼ばれる映画監督やクリエイターが創り出す映画、PV、CMに彼の与えた影響は計り知れなく、時代を越え、ジャンルを越え、アンガーの呪術的イメージは今なお多大なる影響を与え続けている。

ケネス・アンガー: 1927年、アメリカ生まれ。ハリウッドでサイレント映画の衣装担当として働いていた祖母の影響で、映画や芸術への興味を持ち始め、10歳頃から16ミリカメラで映画を撮り始める。高校卒業後に制作した『花火』が初公開作品。59年には、ハリウッドのゴシップを書籍にまとめ『ハリウッド・バビロン』と題してパリにて発行(アメリカでは75年発行)。80歳を越えた現在も映像製作を続けている。

監督: ケネス・アンガー (アメリカ/153分)

11. 『グレン・グールド 天才ピアニストの愛と孤独』 (素材: BD、DVD)



そのエキセントリックなイメージと特異な演奏法でクラシック界の異端児と言われ、かつアイドル視されたグレン・グールド今迄知られる事がなかったグールドの心の内を彼を愛した女性たちが語り、グールドの本質に迫るドキュメンタリー

真夏でも手袋とマフラーを手放さず、異様に低い椅子に座り歌いながら鍵盤を叩く。1964年以降、コンサートは開催せず、レコードのみを発表した。50歳という若さで逝去した美しき天才ピアニスト、グレン・グールド。エキセントリックな言動ばかりが取りざたされた

が、「楽曲を分解し、別の形に組み直したかのような前例のないアプローチ」と評されるように、並外れた演奏技術と高い芸術性を持つ彼のピアノ演奏に人々は魅せられ、死後 30 年経とうとしている今でも残された彼の録音物により新たなファンを獲得し続けている。

数多くあるグールドに関する映像作品は彼の音楽家としての才能を描いたものが多いが本作は、その才能と共に彼の知られざる本質の謎に焦点をあて、グールドを愛した女性たちの証言でその謎に迫ろうと試みている。グールドのデビュー当時の恋人フランシス・バロー、人妻である画家コーネリア・フォス、ソプラノ歌手ロクソラーナ・ロスラックなど、これまで公の場でグールドについて語ったことのなかった人々へのインタビューと、未公開の映像や写真、プライベートなホーム・レコーディングや日記からの抜粋などを通して、伝説の人物としてではなく、ひとりの人間としてのグレン・グールドに焦点を当てたドキュメンタリーである。

監督：ミシェル・オゼ、ピーター・レイモント（2009 年/カナダ/HD/16:9/英語/カラー/108 分）

12. 『イグジット・スルー・ザ・ギフトショップ』（素材：BD、DVD）



アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門にノミネートされた際、受賞したら監督バンクシーを覆面のままで登壇させるのがアカデミー協会と協議され、ハリウッドの街角にバンクシーのグラフィティが出没すること自体がテレビのニュース番組で報じられ話題となったバンクシーの『イグジット・スルー・ザ・ギフトショップ』がいよいよ日本公開！

この映画は、世界のグラフィティ・アーティストを撮影し続けた男（ティエリー・グエッタ）が誰も接触する事ができなかったバンクシーを偶然撮影できるようになったところから始まる。ティエリーの映画は完成するも、バンクシーの発した一言でバンクシー自身も想像しなかった事態に発展。ティエリーは、アーティスト“ミスター・ブレインウォッシュ”としてロサンゼルス最大の新聞 LA Weekly の表紙を飾りエキシビションを開催するのだった。全ては仕組まれたことなのか、偶然なのか、あるいはバンクシーの言うようにこれが 100%リアルな事なのか！？アート業界を痛烈に皮肉り、最高にユーモアの溢れたドキュメンタリー！

監督：バンクシー（2010 年/アメリカ・イギリス/90 分）

13. 『レイキャヴィク・ホエール・ウォッチング・マサカー』（素材：BD、DVD）



裕木奈江出演！ホエール・ウォッチングにやってきた観光客たちが狂気に満ちた捕鯨船に捕らわれ、血みどろの惨劇が巻き起こる…。アイスランド産、怪作スラッシャー・ムービー！

ホエール・ウォッチングのため、世界中から観光客が集まるアイスランド、レイキャビク。いつものように出航した観光船は突如事故に巻き込まれ、自力での帰港を強いられる。そこへやってきた家族経営の捕鯨船が、取り残された観光客たちに救いの手を差し伸べるのだが、それが恐怖のシナリオの始まりであった…。完全に正気を失った狂人たちによる、残忍すぎる殺人の連続！果たして裕木奈江演じるエンドウは、生き残ることができるのか…。

総人口約 30 万人のアイスランドで初めて製作されたホラー映画である本作には『悪魔のいけにえ（テキサス・チェーンソー・マサカー）』のレザーフェイス役でおなじみ、ガンナー・ハンセンも船長役で出演しており、様々なホラー映画へのオマージュが隠されている。一方で、『インランド・エンパイア』や『硫黄

島からの手紙』などに出演し、ますますワールドワイドに活躍する女優、裕木奈江の堂々たる演技も見逃せない。

監督：ジュリアス・ケンブ（2009年/アイスランド/90分）

14. 『名前のない少年、脚のない少女』（素材：BD、DVD）



ブラジル映画界の超新星フィーリョ監督の、ロカルノ映画祭コンペ出品作品
十代の少年少女の「喪失と共に生きる」日々

南ブラジルのドイツ系移民の小さな町に母親と二人で暮らす16歳の少年。彼の夢はボブ・ディランのコンサートへ行くこと。学校にも家庭にも居場所を見つけられない少年は、退屈な現実から逃避するようにミスター・タン布林マンというハンドルネームで日夜インターネットに没頭している。ある日、彼はネット上で奇妙な動画と写真を見つける。そのどちらにも同じ神秘的な女性が写っていた…。

監督：エズミール・フィーリョ（2009年/ブラジル・フランス/101分）

15. 『スプリング・フィーバー』（素材：BD、DVD）



中国で映画製作を禁じられたロウ・イエが描く最も純粋なラブストーリー

中国でタブーとされている天安門事件を描いた前作『天安門、恋人たち』（06）で当局より5年間の映画制作・上映禁止処分を受けるも、その処分を無視し中国国内でゲリラ的に撮影を敢行。本作は09年度カンヌ国際映画祭で脚本賞を受賞、世界が賞賛した。

現代の南京を舞台に、“春の嵐”（スプリング・フィーバー）により掻き乱された一夜を彷徨うかのような、男女五人。狂おしいほどの欲望と絶望。移ろい、漂う、心と身体。静謐な画面からは、複雑に絡み合う想いと衝動が溢れ出し、普遍的な愛の物語が浮き上がる。

監督：ロウ・イエ（2009/中=仏/115分）

16. 『ANPO』（素材：BD、DVD）



僕は戦争が嫌だ、あんな馬鹿なことを絶対にしたくない
——あの熱かった時代の日本を
アーティストたちはどう表現したのか

今から半世紀前の60年安保当時熱かった日本をアーティストがどのように表現したのか。学生、労働者、主婦など様々な立場の人が参加した安保闘争の最大の原因は「二度と戦争をしたくない」という市民の強い意志だったことをアーティスト

たちは語っています。現在も、沖縄の普天間基地の問題など安保に象徴される日米の関係は、根本的にはなにも問い直しをされずに棚上げされてきました。『ANPO』は、日本で生まれ育ったアメリカ人リンダ・ホーランド監督が、60年安保を知るアーティストたちの証言と作品を通して、日本とアメリカの関係の問い直しを日本人に迫るドキュメンタリーです。

監督・プロデューサー：リンダ・ホーランド（2010年/アメリカ・日本/89分）

17. 『ソウル・パワー』（素材：BD、DVD）



この映画（ライブ）を観ずして、死ぬなかれ！

1974年、ザイル。モハメド・アリ対ジョージ・フォアマンの世紀の一戦“キンシャサの奇跡”にさきがけ“ブラック・ウッドストック”とも呼ばれる世界最強の音楽祭が行われた。誇りを持ってルーツ回帰へと目指したアフリカ系アメリカ人ミュージシャンと、解放運動のために戦い続けてきたアフリカン・ミュージシャンが同じステージに立った、歴史的な転換点。アカデミー賞受賞作『モハメド・アリ かけがえのない日々』の制作後、お蔵入りしていた膨大な貴重映像が34年もの時を経てついに公開。

監督・製作：ジェフリー・レヴィ=ヒント（2008年/アメリカ/93分）

18. 『アンヴィル！ 夢を諦めきれない男たち』（素材：BD、DVD）



30年間夢を諦めなかった男たちの夢と友情を描いた、笑って泣けるウソのような本当のお話！！

1973年に結成されたヘヴィメタルバンド、アンヴィルが1982年に発表したアルバム「メタル・オン・メタル」は、後にビッグになる数多くのメタルバンドに影響を与えた。しかし、当の彼らはスターダムにのし上がることなく、現在は地元でしかない仕事をしながらバンド活動に精を出している。そんな彼らにヨーロッパ・ツアーの話が舞い込むが……。

監督：サーシャ・ガバシ（2009年/アメリカ/81分）

19. 『ウイグルからきた少年』（素材：BD、DVD）



僕たちのことを、忘れないでください。

国をもたない民族 ウイグルの物語

7月5日、新疆（しんきょう）ウイグル自治区で発生した抗議デモが世界の注目を集めているが、事件の真相についてウイグル人の声はほとんど届いていない。「忘れ去られてしまいかねないウイグルの存在を知ってほしい」その想いで、現役自衛官の佐野伸寿監督がカザフスタンとイラクに滞在した経験をヒン

トに、中央アジアの現状とそこに生きる人々の生活を描く。民族も言葉も異なるウイグル、ロシア、カザフスタンの3人の子供たちの、純粋で無垢ゆえの破滅への道のりを、そこに彼らが生きている息吹を確認するように、カメラは静かに見つめ続ける。

監督：佐野 伸寿（2008年/日本・ロシア・カザフスタン/65分）

20. 『NO NEW YORK 1984-91』（素材：BD、DVD）



1984～91年のニューヨークで、新たなシーンが勃興した。その「NO WAVE」の流れを汲む、若手監督たちによる8ミリ映画の数々は、ニック・ゼッドによって「Cinema of Transgression；シネマ・オブ・トランスグレーション」（破戒映画）と命名された——

監督・撮影・編集：アンジェリーク・ボジオ
原題：LLIK YOUR IDOLS
（2007年/フランス/70分）

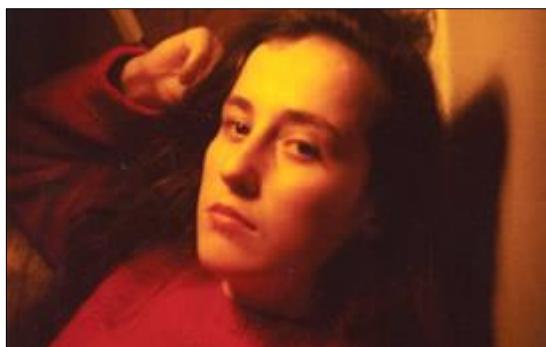
21. 『風の馬』（素材：BD、DVD）



北京五輪開幕時に起きた大規模騒乱により、世界中の人々が知ったチベット問題。現在チベットには、報道規制により外国からのカメラが入ることは許されない。『風の馬』は今から10年前、チベットのラサで監視の目をかいくぐり撮影された劇映画である。歌手のドルカは、中国人の恋人の助けで中国の国営テレビへの出演が決まる。ある日、ダライ・ラマの肖像の掲示を中国政府が禁止し、尼僧である従妹のペマがこれに抗議し投獄された。残忍な拷問の末、ペマは別人のように変わり果て…。

監督：ポール・ワーグナー（1998年/アメリカ/97分）

22. 『彼女の名はサビーヌ』（素材：BD、DVD）



第60回カンヌ国際映画祭 — 監督週間で国際批評家連盟賞を受賞し、観た人全ての胸が締め付けられたという一本のドキュメンタリーが話題にのぼった。

女優サンドリーヌ・ボネールの監督 デビュー作『彼女の名はサビーヌ』である。25年の歳月をかけて撮影された自閉症の妹 — その映像によって観客は、過去の生き生きとした若かりし頃の妹と、入院を経た現在の彼女の「変化」を容赦なく見せ付けられる。同時に、その「視点」は今も 昔も変わることなく愛に満ち溢れた姉の「眼差し」であり、完成された映画は妹への「抱擁」である。

監督：サンドリーヌ・ボネール（2007年/フランス/85分）

23. 『消えたフェルメールを探して 絵画探偵ハロルド・スミス』 (素材: BD、DVD)



現存するフェルメールの作品 35 点。
しかし『合奏』と題された 1 点だけ、
誰も見ることができない・・・

この映画は、フェルメールの盗まれた絵画を、絵画探偵ハロルド・スミスが生涯をかけて犯人捜索にあたったドキュメンタリーである。

監督: レベッカ・ドレイファス (2005 年/アメリカ/83 分)

24. 『1000の言葉よりも-報道写真家ジブ・コーレン』 (素材: BD、DVD)



イスラエル人としてパレスチナ問題を撮り続け、危険を顧みず現実を伝えようとする報道写真家ジブ・コーレンに迫るドキュメンタリー。

自爆攻撃により破壊された一台のイスラエルのバス-----めにしたこの写真は、イスラエルの新聞にも掲載された。死んだ自国民の写真を自国の新聞に掲載したのは、イスラエル報道史でも際立った出来事だった。

1000 の言葉よりも-報道写真家ジブ・コーレン

監督・撮影・編集: ソロ・アビタル

25. 『ビルマ、パゴダの影で』 (素材: BD、DVD)



スイスの観光用 PR 番組の撮影と偽りビルマに潜入したカメラはジャングルの奥深く国境地帯へ少数民族の証言を求めて旅をする。

2007 年 9 月 27 日、取材中のジャーナリスト長井健司さんが銃弾に倒れたビルマ(ミャンマー)。民主化運動の指導者アウンサンスーチーに対する軍政の弾圧に関して世界が注目する一方、少数民族や宗教的少数派に対する抑圧の真実について語られることは少ない。これは私たちにはじめて届けられた、今なお国境地帯の山中で生き延びる彼らの、悲痛な叫びである。

監督: アイリーヌ・マーティン

26. 『ジプシー・キャラバン』 (素材：BD、DVD)



それぞれのルーツにジプシー音楽を持つ、スペイン、ルーマニア、マケドニア、インドの4つの国の5つのバンドが、6週間を掛けて北米の諸都市を廻る“ジプシー・キャラバン”ツアーが催された。

このツアーの全貌をカメラが追い掛け、それぞれの音楽が生まれた土地を訪れたドキュメントからなる極上の音楽映画が誕生！

監督：ジャスミン・デラル (2006年/アメリカ/115分)

27. 『カルラのリスト』 (素材：BD、DVD)



戦争の最大の犠牲者はいつも兵士ではない子供たちと女性。

この映画は、その犠牲者を生み出す残虐行為を行った個人を処罰するために世界のどこかに隠れている犯人を探し出し告発する、国連検察官カルラ・デル・ポンテのドキュメンタリーです。

「東京裁判」「ニュルンベルグ裁判」の遺産を継続し、「旧ユーゴ」「ルワンダ」の虐殺の犯罪人を裁く国際刑事法廷を経て、歴史上初の常設の国際刑事裁判所（ICC）が2002年に設立。日

本は今年の10月1日に加盟する事をようやく決定。

現在も継続されているオランダ、ハーグに有る「旧ユーゴ国際刑事法廷」にはじめてカメラが入りその戦争犯罪人を告発する活動を映し出します。

監督：マルセル・シュッパッハ

28. 『ヴォイス・オブ・ヘドウィグ』 (素材：BD、DVD)



2001年、世界に一大「ヘドウィグ」ブームを生み出し、2007年夏公開の新作『ショートバス』で再びセンセーションを巻き起こさんとしているジョン・キャメロン・ミッチェルと、音楽プロデューサー、クリス・スルサレンコ、そして多数の個性派ミュージシャン達が一堂に会して、NYのLGBTQの青少年のため学校「ハーヴェイ・ミルク・ハイスクール」の為に立ち上がった。

監督：キャサリン・リントン (2006年/アメリカ/101分)

29. 『ルーツ・タイム』 (素材 : BD、DVD)



バブーとジャー・ブルという、個性も違えばライフスタイルも違う、しかしお互いに独特な理解力とカリスマ性を持った二人のラスタマンが、カラフルなおんぼろ車でレコードを売りながらジャマイカを横断していく。

ジャマイカ、レゲエを題材にしたドキュメンタリーは数あるけど、アルゼンチン人監督の「ラスタファリアン・カルチャーを映画にしたい」という夢の実現の為に作られたこの作品は、ラスタのルーツを探り、ジャマイカのヴァイブスを伝える。ほとんどのシーンをボブ・マーリィが生まれたとして名高い小さな町、ナイン・マイルズで撮影。現地のラスタマンたちに受け入れられ、このようなピースフルな作品が生まれた。

監督・脚本 : シルベストレ・ハコビ

30. 『パラダイス・ナウ』 (素材 : BD、DVD)



イスラエル占領地ナブルス自爆攻撃へ向かう、二人の若者の 48 時間

63 回ゴールデングローブ賞 最優秀外国語作品賞受賞
第 55 回ベルリン国際映画祭 観客賞受賞
ヨーロッパ・フィルム賞受賞
アムネスティ・インターナショナル賞受賞
第 78 回アカデミー賞 外国語映画部門ノミネート

第 78 回アカデミー賞の授賞式前、ある作品をノミネートから外すよう署名運動が起きた。自爆攻撃のイスラエル人犠牲者の遺族が「映画は無実の市民を殺害する自爆テロを正当化しており、危険なプロパガンダだ」という内容の嘆願書を提出、記者会見を行った。それが、外国語映画部門にノミネートされた本作品、『パラダイス・ナウ』である。

監督・脚本 : ハニ・アブ・アサド

31. 『甲野善紀身体操作術』 (素材 : BD、DVD)



この映画は意識していない身体の動かし方、あるいは意識していても固定概念に捕われた身体の動かし方をしている私たちに、身体操作術をもってして眠っていた“可能性”を呼び起こそうとする甲野善紀を追ったドキュメンタリーである。

監督 : 藤井謙二郎

32. 『アート・オブ・トイピアノ／マーガレット・レン・タンの世界』 (素材：BD、DVD)



世界で唯一のプロのトイピアノ演奏者であるマーガレット・レン・タンの新しいピアノ言語への挑戦を10年もの年月をかけて追ったドキュメンタリー。

監督：エバンス・チャン

33. 『愛しきベイルート／アラブの歌姫』 (素材：BD、DVD)



かつて「中東のパリ」と呼ばれた港町ベイルートの歌姫・ファイレズが愛を歌う、奇跡のドキュメンタリー！紛争の絶えないアラブの地に、あらゆる垣根を越えて愛される希望の歌声が響き渡る！

監督：ジャック・ジェンセン

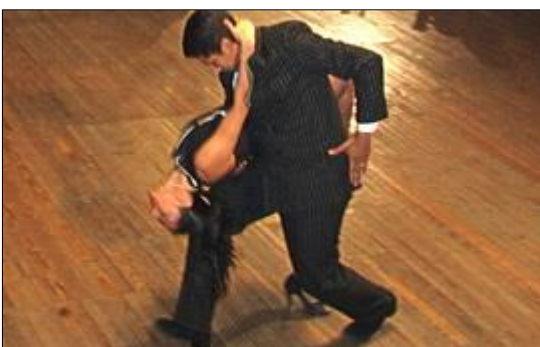
34. 『ミックステープ』 (素材：BD、DVD)



ミックステープについて徹底的に検証した、ヒップホップ産業の舞台裏ドキュメンタリー。

監督：ウォルター・ベル

35. 『12タンゴ』 (素材：BD、DVD)



アルゼンチンのトップ・タンゴダンサーと伝説のバンドネオニストが共演！哀愁の歴史に翻弄されながらも、現代のブエノスアイレスを力強く生きる人々の姿を捉えた感動のタンゴ・ドキュメンタリー！

監督：アルネ・ビルケンシュトック

36. 『 KILL YOUR IDOLS 』 (素材 : BD、DVD)



70年代後半のニューヨーク・アンダーグラウンドで突然発生した、破壊的アート・パンク, NO WAVE をおった音楽ドキュメンタリー。

監督 : S. A. クレイリー

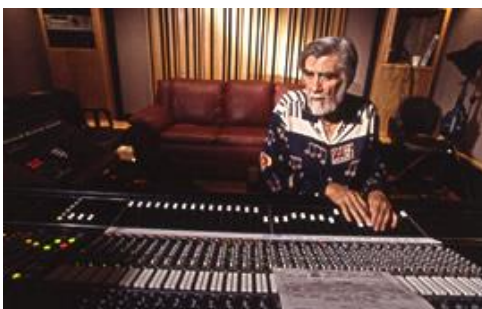
37. 『ストロベリー・ショートケイクス』 (素材 : BD、DVD)



魚喃キリコの傑作コミックを原作に、映画監督・矢崎仁司、小説家・狗飼恭子が紡ぎ出したもう一つの「ストロベリーショートケイクス」

監督 : 矢崎仁司

38. 『トム・ダウド/いとしのレイラをミックスした男』 (素材 : BD、DVD)



『トム・ダウド/いとしのレイラをミックスした男』は、エリック・クラプトンとデュアン・オールマンの出会いから、「いとしのレイラ」が生まれた秘話や、レイ・チャールズ、フィル・ラモーンなど、アーティストや関係者たちの貴重な証言を交えながら、彼の77年間の人生を追ったドキュメンタリー作品である。

監督 : マーク・モーマン

39. 『ジャマイカ 楽園の真実』 (素材 : BD、DVD)



レゲエの国、ジャマイカの音楽とその生活、そして現実を見つめたドキュメンタリー。“Dept”とは“負債”の意味。グローバルゼーションの中でジャマイカはどう位置付けられるのか。レゲエの中で歌われてきた歌詞の意味をもう一度考えてみる。

監督 : ステファニー・ブラック

40. 『ピンクリボン』（素材：BD、DVD）



2002年、日本のピンク映画は生誕40周年を迎えた。社会的イメージとは裏腹に、数多くの優れた映像作家を輩出してきたピンク映画界。そんなピンク映画の歴史と現在を築いてきたプロデューサー・監督・俳優・配給・興行関係の姿を通し、たくましく生き抜いてきた彼らの「情熱と知恵」を描いたドキュメンタリー。ピンク映画版「プロジェクトX」。

監督：藤井謙二郎

41. 『エメラルド・カウボーイ』（素材：BD、DVD）



反政府ゲリラによるテロが頻発し、毎年2,000人以上が身代金目当てのため誘拐されるコロンビアの中でも最も危険な地域がアンデス山脈の密林の奥地。そこに、エメラルドを求める現代のカウボーイ達が西部開拓時代のように集まってくる。エメラルド・カウボーイ早田英志の半生をドキュメンタリー部分を交え描くユニークなスタイルのアクション・ドキュメンタリー・ドラマ

42. 『アカルイミライ』（素材：BD、DVD）



オダギリジョー・浅野忠信・藤竜也の初共演で話題沸騰。カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品された黒沢清監督の最高傑作。

人と上手く接することが出来ないうえ、何の目的も見出せず苛立ちだけを募らせる青年が、一見穏やかながら内に危険な感情を秘めた同僚との奇妙な交流を通して、新たな何かを見出していく姿を描く

監督・脚本・編集：黒沢清

43. 『新しい神様』（素材：BD、DVD）



ストリーミングで人気沸騰したパラレル・ワールド。引きこもりで読書中毒症の青年＝風間紘平が、クロスワードパズルによって民衆を管理しようとする国家機関を相手に闘いを挑む。

監督・脚本：大森美香

44. 『イメージ・ガーデン』 (素材: BD、DVD)



音楽、クラブ、アートシーンの境界を超える活動で高い評価を受けている、新進気鋭のクリエイター3組による映像と音楽の洪水。

監督: 高木正勝、生西康典+掛川康典+Kuknacke、長谷井宏紀+kujun

45. 『ヴィトゲンシュタイン』 (素材: BD、DVD)



伝説の哲学者ヴィトゲンシュタインの生涯を追った劇映画。色彩に溢れる衣装は必見!

監督・脚本: デレク・ジャーマン (イギリス・日本)
原題: Wittgenstein (1993)

46. 『愛の悪魔』 (素材: BD、DVD)



カンヌ映画祭で評価された坂本龍一の音楽と映像美で、ピカソと並ぶ20世紀最高峰の英国画家フランシス・ベイコンの愛を綴る傑作。

監督・脚本: ジョン・メイプリィ (イギリス)
出演: ジョー・コールマン、ジム・ジャームツシュ (オーストリア)
原題: Love is the Devil (1998)

47. 『ザ・ガーデン』 (素材: BD、DVD)



幻想的な庭をモチーフに、宗教、夢、幼少時の記憶など、様々なイメージを織り込んだ心象風景ドラマ

監督: デレク・ジャーマン
出演: ティルダ・スウィントン
音楽: サイモン・F・ターナー (イギリス・西ドイツ)

48. 『BLUE』 (素材 : BD、DVD)



エイズに侵されたデレクが死を見つめ、フランスの画家イヴ・クラインに捧げたモノクローム・ムービー。

監督 : デレク・ジャーマン

音楽 : サイモン・F・ターナー (イギリス・日本)

49. 『三月のライオン』 (素材 : BD、DVD)



熱狂的な支持を受け多くのリピーターを生み出した、記憶喪失の兄と妹の愛しくも切ない物語。

監督 : 矢崎仁司

出演 : 由良宜子 (日本)

MARCH COMES IN LIKE A LION (1992)